

女性パトロール実施報告書

現場名	H30小名木川管内左岸維持管理工事
実施日	平成30年10月15日
実施者	TWS 笠原・小柴・半田
報告者	半田
現場状況	中州堤防の芝が剥がれている場所が数か所あり、そのうち3箇所試験的に植生シートを施工していました。

【現況】



芝剥がれの原因をお聞きしたところ、上を通る首都高による日照不足ではないかとの事でした。陽当たりは良さそうな場所でしたが、春～夏の日差しの角度によっては要因となるようです。



【施工状況】



試験範囲にマーキングをし、植生シートを設置していました。除草後なので芝の剥がれ部分が目立ち、風雨の影響を受けやすそうです。

試験的とはいえ、発芽には厳しい時期ですし、ビニル被覆等を行わず種子が春まで保持できるか気になりました。また、土と密着しない、既存芝草の上からの施工で根付くのかなど、興味ある試験施工ですので経過が楽しみです。



【保安設備】



短時間の施工でも保安設備はきちんと配置してありました。通行者に分かりやすい場所に看板を設置し、作業車はカラーコーンで囲み注意喚起を促していました。施工範囲はトラップだけでは見にくいので、ピンク色のテープを取付け立入禁止を目立たせていました。



女性パトロール 実施報告



実施日:平成30年10月15日(月)
対象現場:H30小名木川管内左岸維持管理工事
報告者:TWS 笠原美寿々



左岸3.0kp付近

現場では法面の土砂が洗堀され、植生が剥がれている箇所に植生シートを設置する作業を行っていました。洗堀された箇所の上には、高速道路が通っているため日陰になりやすく植生が生育しにくい環境であったため、法面の土砂が洗堀されやすい状態であったとのことです。

これから更に寒い時期が続くので植生が生育するか不安要素もありますが、試験的に作業を行い今後の様子を見るそうです。

植生は水の流れて土砂が洗堀されることを防止する役割があります。植生がめくれてしまうと土砂の部分に水が溜まりやすくなり更に土砂が流れやすくなります。また大雨や洪水などにより堤防が決壊する危険性が高まります。

※イメージ図



↑ 植生がきれいな状態



↑ 植生がめくれ土砂が洗堀されている状態



植生シートは内側に種がついており、法面に密着させることで種が土につき草が生えます。

出水期を抜けたので、11月中旬までは順調に植生が生育すると思いますが、更に寒くなるのでしっかりと植生が張るのかとても気になります。

現場付近は通行人が少ない場所でしたが、看板の配置、資材は必要なものだけを取り出し作業をされていたので普段から現場を綺麗に作業することが意識されていると感じました。

女性パトロール報告書

現場名：H30小名木川管内左岸維持管理工事 実施日：平成30年10月15日
現場職員：後藤 良輔 実施者：笠原・半田・小柴 報告者：小柴

パトロール状況 (作業内容: 植生シート工)

役所が年2回実施している堤防点検での指摘箇所について、植生シートの試験施工を行っていました。



施工箇所は、上に首都高が走っているため日陰になってしまい、法面の芝の生育が悪くなっているようでした。



植生シート設置前の堤防は、芝の生えていない箇所が多々ありました。放っておくと大雨が降った際に洗掘されてしまい、堤防の役割を果たさなくなってしまうため、それを防ぐために植生シートで対策するそうです。

※上の写真はイメージとして作成したものです。(パトロール当日は曇りで日当たり状況の判断が出来なかったため。)

施工完了



施工完了後は施工箇所を立ち入り禁止箇所をロープで囲い、目立つようピンクのテープを付けていました。



植生シートを初めて見ました。シートの内側に種が植えつけてあり、発芽すると法面が芝で覆われ、根を張ることで、浸食防止効果が期待できます。

安全管理



今回の施工箇所は人があまり通らない場所でしたが、工事看板を作業車の近くに設置されていて、現場が整理整頓されていました。